



Colors, Future!

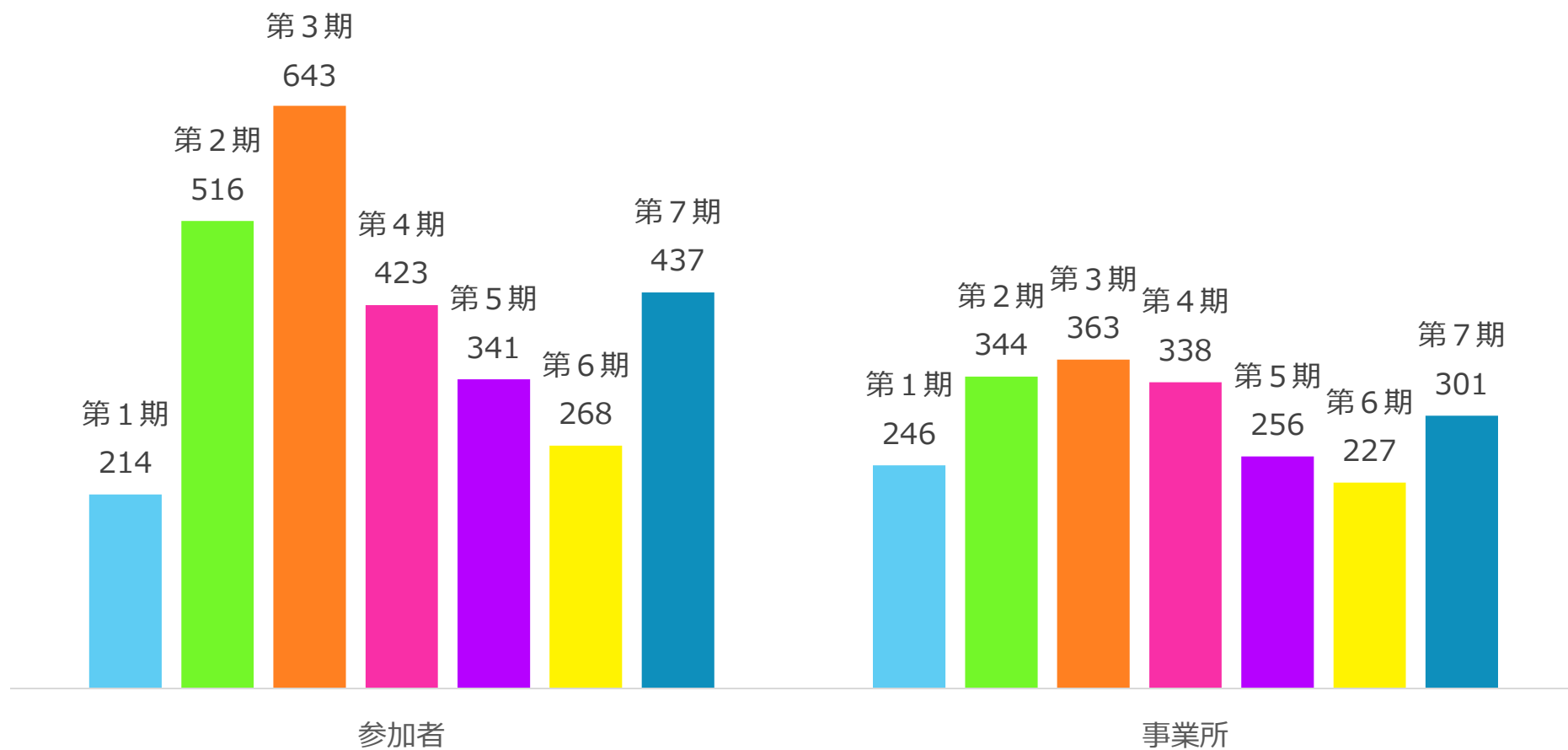
いろいろって、未来。

川崎市

かわさき健幸福寿プロジェクト 取組結果について

川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

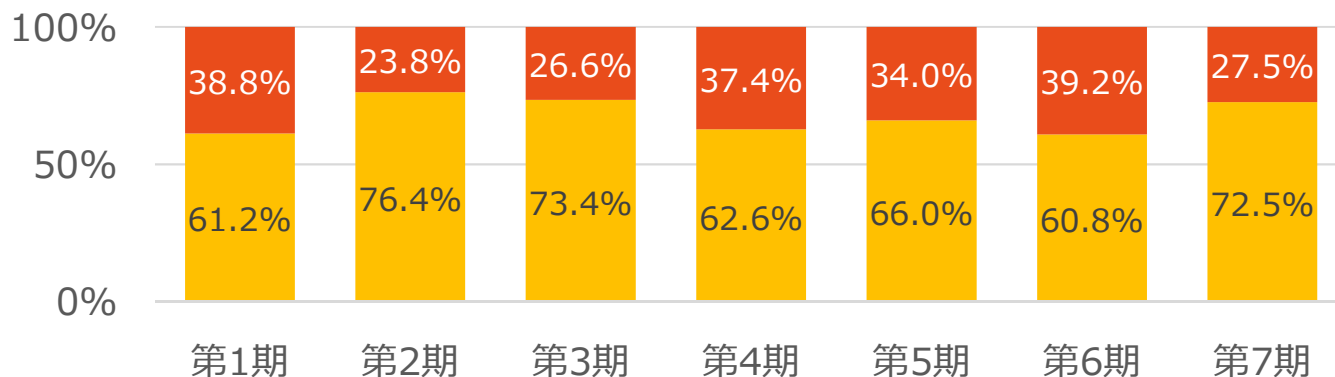
参加者数・参加事業所数の推移



チーム事業所の参加数 1チームあたりの事業所数平均 など

参加チームについて	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
参加全チーム数 = 全参加者数	214	516	643	423	341	268	437
在宅系チーム数	83	123	171	158	116	105	120
その他チーム事業所数 (のべ)	213	290	407	395	249	272	302
チーム事業所総数 (のべ)	296	413	578	553	365	377	422
1チーム平均の参加事業所数	3.57	3.36	3.38	3.50	3.15	3.59	3.52
施設・居住系チーム数	131	394	472	265	225	163	317
参加全事業所 (のべ)	427	807	1,050	818	590	540	739
参加者全体における在宅系の割合	38.8%	23.8%	26.6%	37.4%	34.0%	39.2%	27.5%
参加者全体における施設・居住系の割合	61.2%	76.4%	73.4%	62.6%	66.0%	60.8%	72.5%

第1期 - 第7期 チーム種類別参加割合



第7期については、施設・居住系チームの割合が上昇した。

- 在宅系の割合
- 施設・居住系の割合

実施結果

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
要介護度が改善	34	73	96	74	21	24	52
	15.9%	14.1%	14.9%	17.5%	6.2%	9.0%	11.9%
要介護度を平均以上維持	105	248	291	182	177	155	226
	49.1%	48.1%	45.3%	43.1%	51.9%	57.8%	51.7%
改善・平均以上維持以外	75	195	256	166	143	89	159
	35.0%	37.8%	39.8%	39.3%	41.9%	33.2%	36.4%
合計	214	516	643	422	341	268	437

第5期、第6期の改善者数の減少（過去期と比較）については、「新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱い」により、対面認定調査を回避するために従来の要介護状態区分を引き継ぎ、認定有効期間を12ヶ月（要介護1《不安定》の場合は6ヶ月）延長するケースが可能となったことなどによる要因と考えられます。

第7期 参加者のインセンティブ区分

●参加者437名のインセンティブ対象区分について

要介護度	ADL改善				合計
	5ポイント以上	1～4ポイント	0ポイント	0ポイント未満	
改善	15	21	3	13	52
	3.43%	4.81%	0.69%	2.97%	11.90%
平均を超えて維持	0	13	182	31	226
	0.00%	2.97%	41.65%	7.09%	51.72%
上記以外	0	8	75	76	159
	0.00%	1.83%	17.16%	17.39%	36.38%
合計	15	42	260	120	437
	3.43%	9.61%	59.50%	27.46%	100.00%

金賞：52人、銀賞：234人、銅賞：151人

第7期 事業所のインセンティブ区分

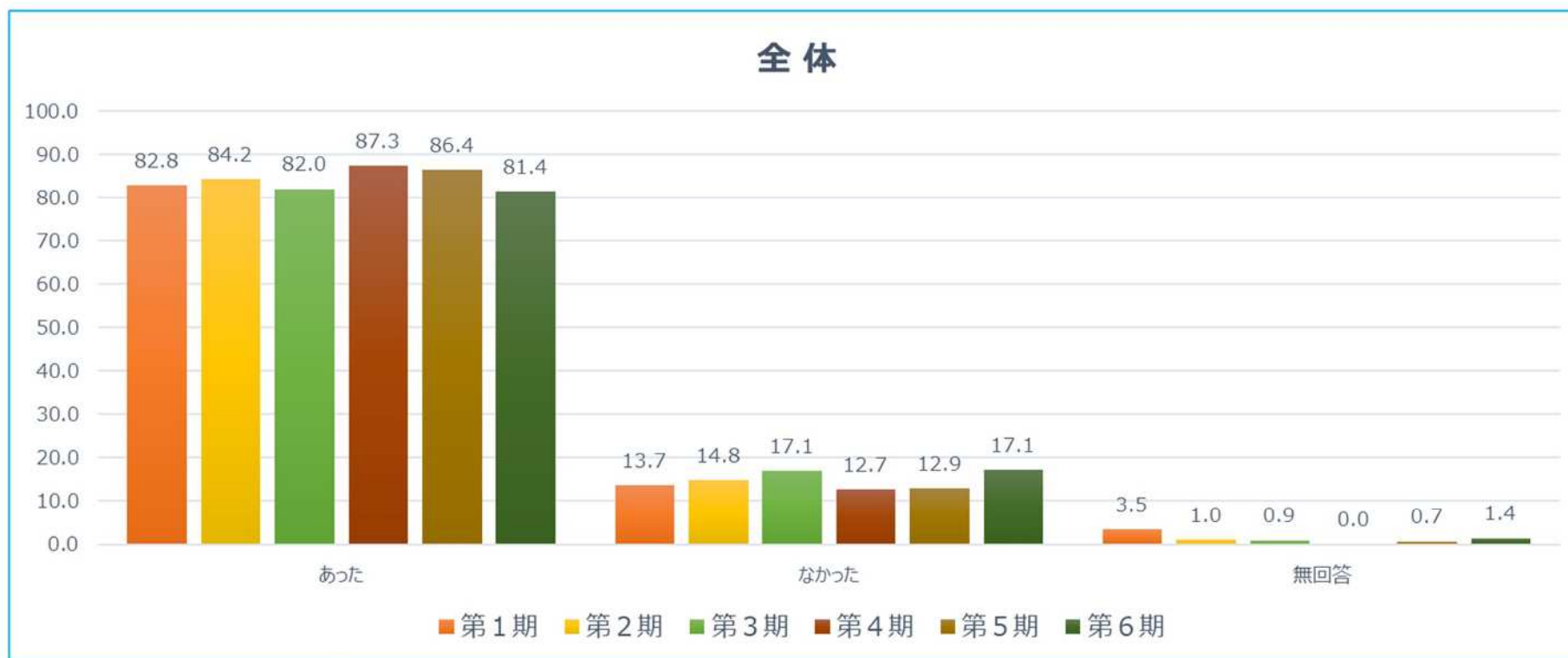
●インセンティブ対象の事業所数について

要介護度	ADL改善				合計
	5ポイント以上	1～4ポイント	0ポイント	0ポイント未満	
改善	39	51	15	24	129
	5.28%	6.90%	2.03%	3.25%	17.46%
平均を超えて維持	0	22	239	42	303
	0.00%	2.98%	32.34%	5.68%	41.00%
上記以外	0	10	109	188	307
	0.00%	1.35%	14.75%	25.44%	41.54%
合計	39	83	363	254	739
	5.28%	11.23%	49.12%	34.37%	100.00%

金賞：129か所、銀賞：313か所、銅賞：297か所

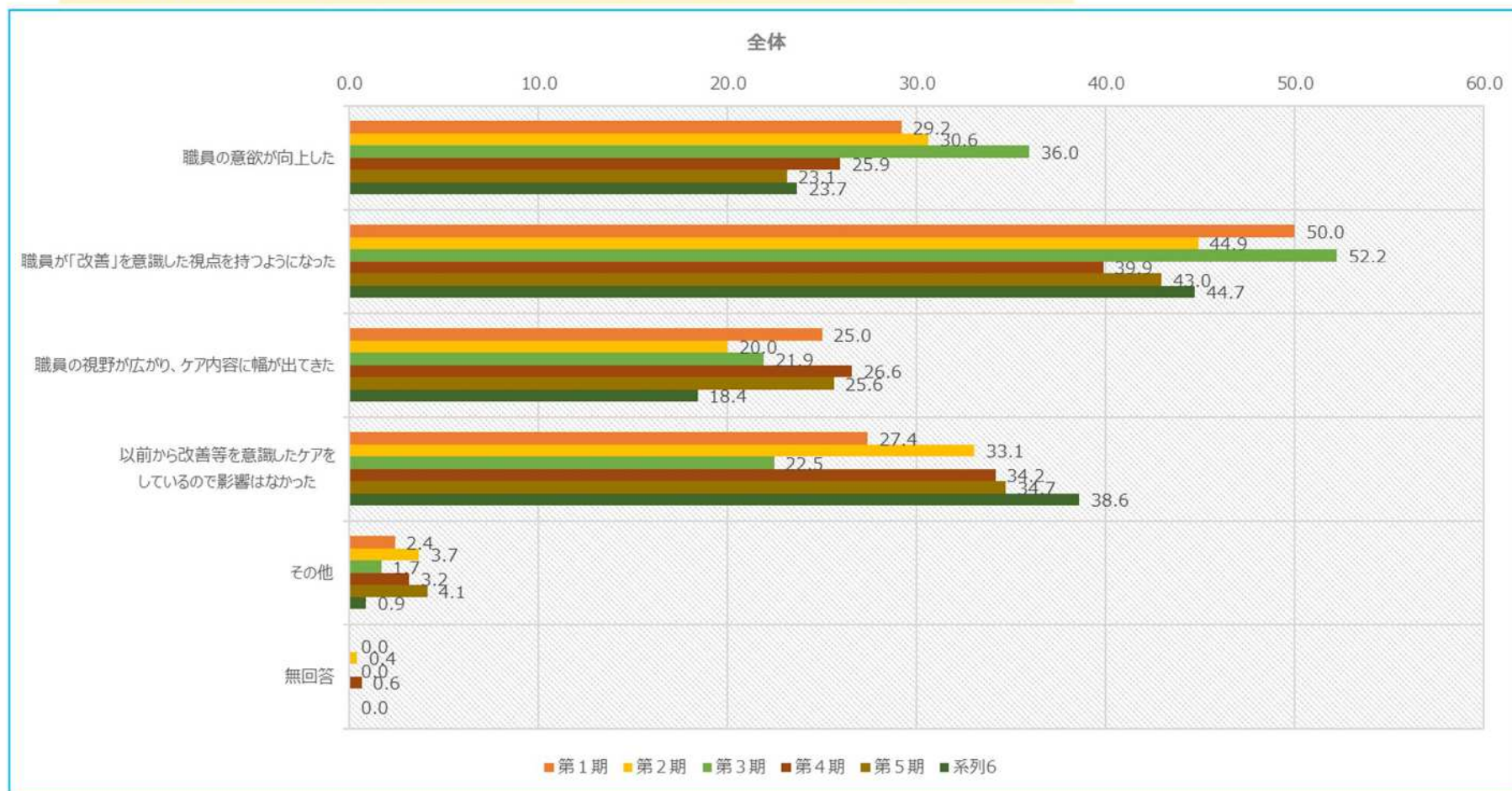
かわさき健幸福寿プロジェクト これまでの取組み結果 (第1期～第6期アンケート)

◆プロジェクトに参加したことによる事業所へのプラス面の影響



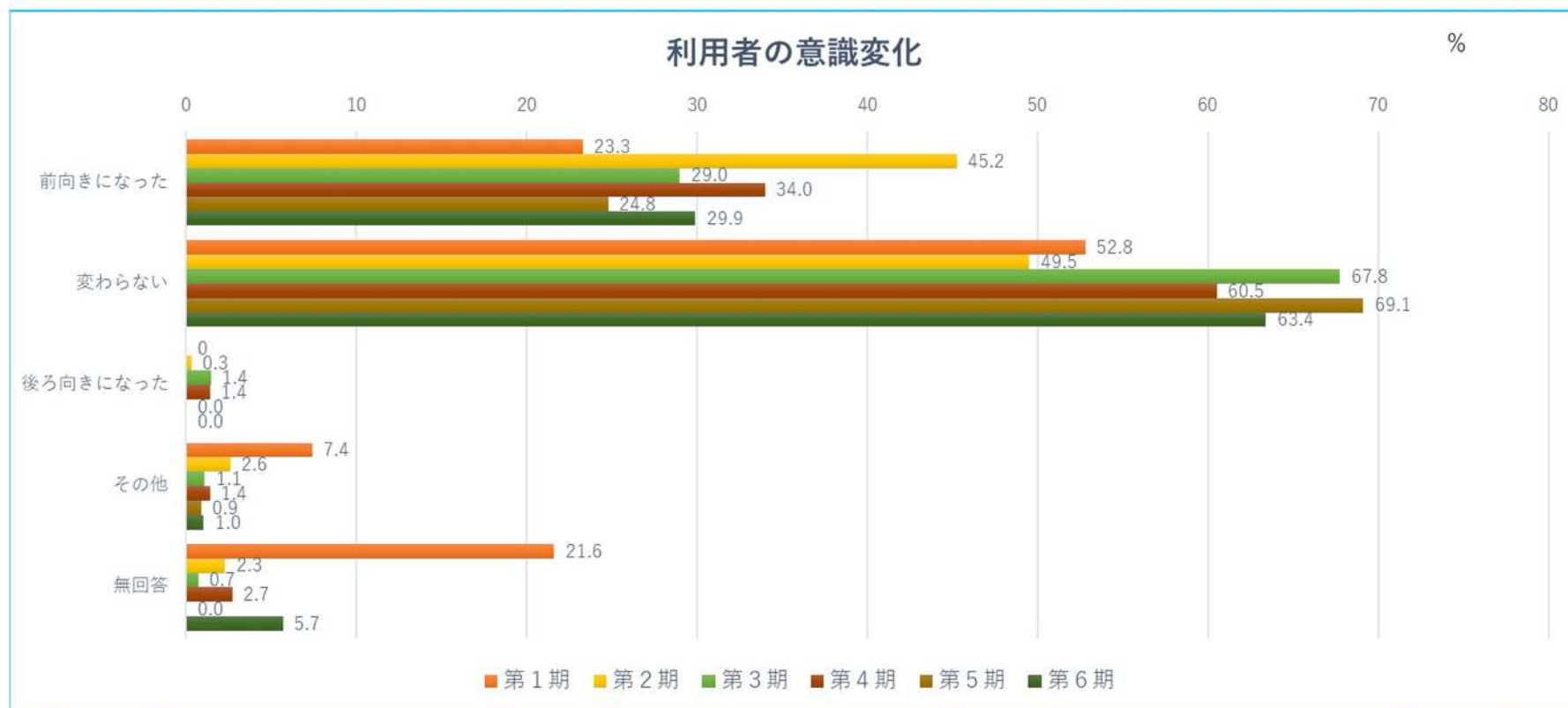
参加事業所全体についても、80%を超える事業所からプロジェクトに参加したことによって何らかのプラス面の影響があったことを確認できた。

◆プロジェクトに参加したことによる事業所へのプラス面の内容



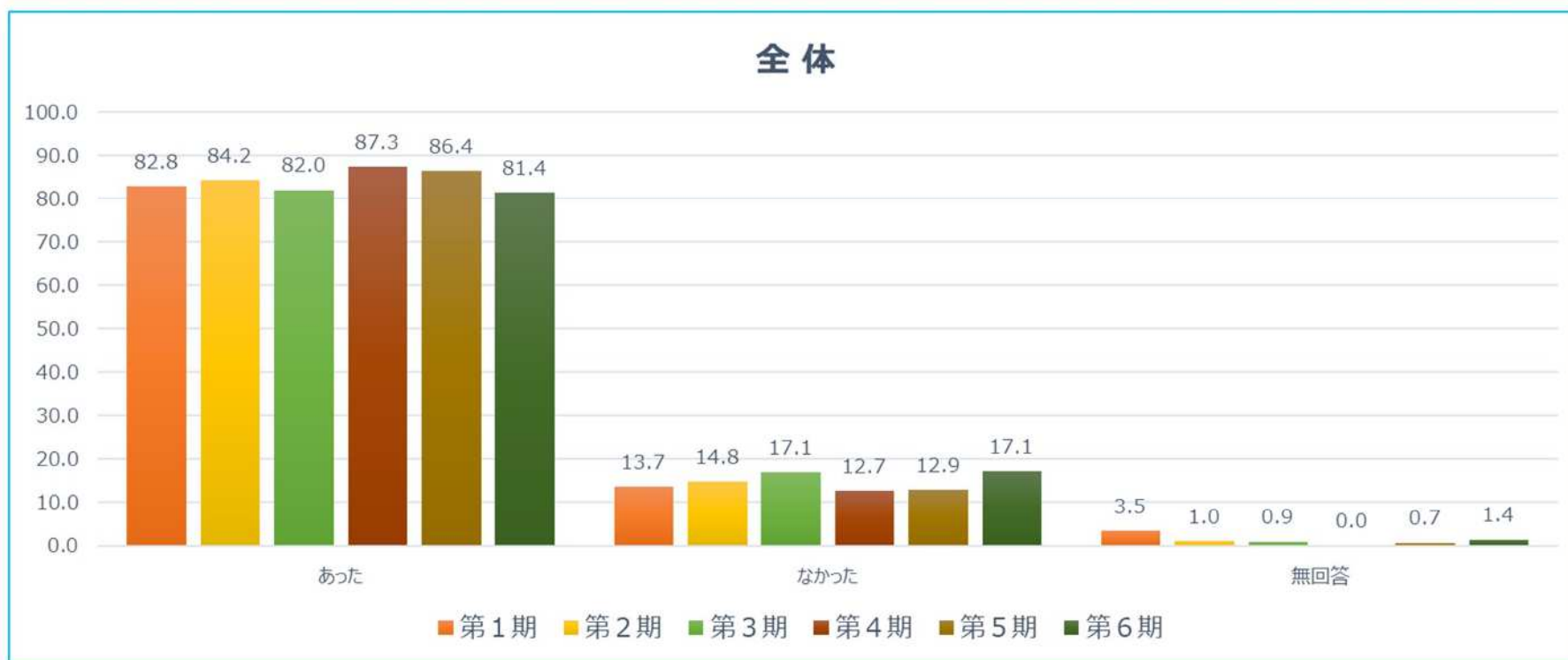
プロジェクト参加によるプラス面については、「職員の意欲が向上した」よりも「職員が「改善」を意識した視点を持つようになった」と回答した割合が多い。

◆利用者の意識変化



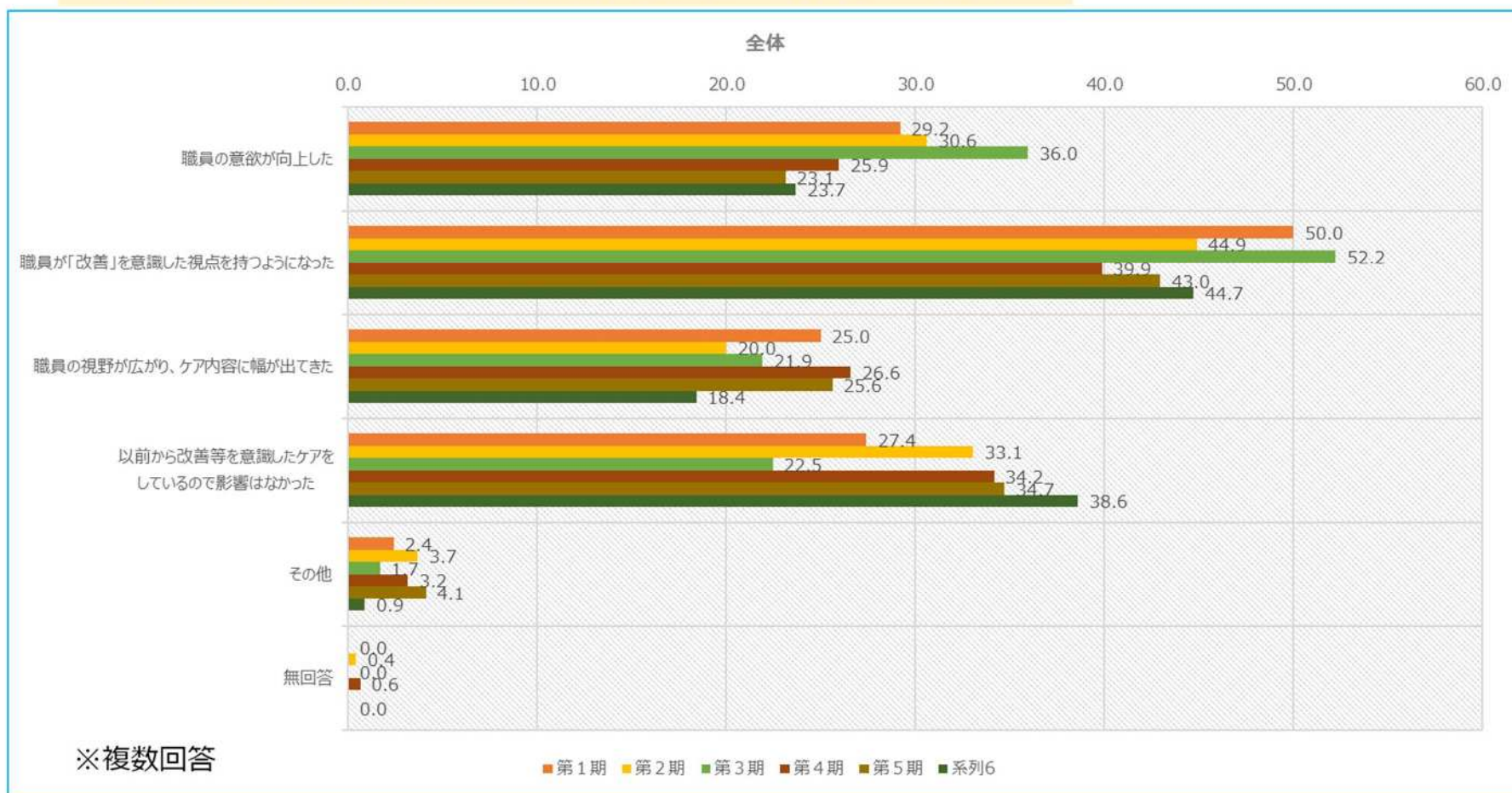
プロジェクトに参加することで、気持ちが「前進になった」利用者は全体の3割、「変わらない」が6割となっている。

◆プロジェクトに参加したことによる事業所へのプラス面の影響



参加事業所全体についても、80%を超える事業所からプロジェクトに参加したことによって何らかのプラス面の影響があったことを確認できた。

◆プロジェクトに参加したことによる事業所へのプラス面の内容

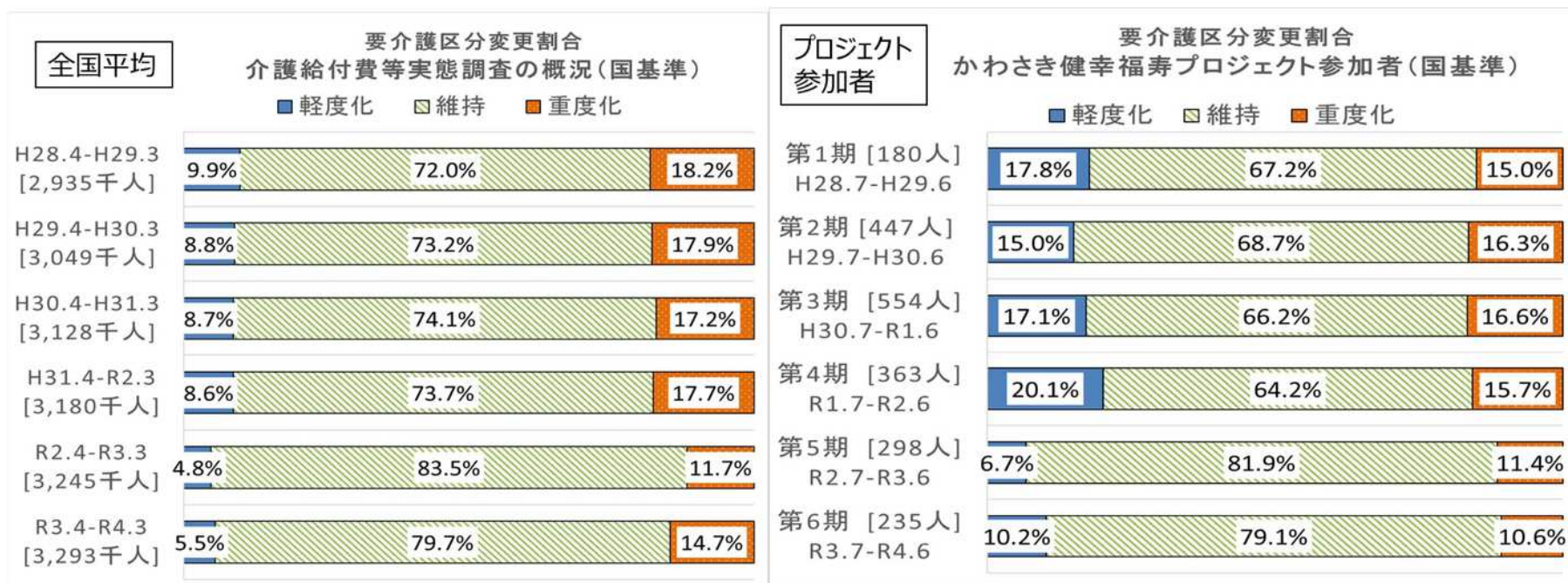


プロジェクト参加によるプラス面については、「職員の意欲が向上した」よりも「職員が「改善」を意識した視点を持つようになった」と回答した割合が多い。

要介護度改善・維持率について全国平均との比較

◆第1期～第6期 軽度化率・維持率・重度化率の比較（全体）

プロジェクト参加者における維持を国が定義する維持に置き換え、プロジェクト参加者と全国平均との改善率等の比較を行った。全国平均は、例年、厚生労働省より公表される介護給付費等実態調査結果を参考とした。



全6期を通じて、プロジェクト参加者の軽度化率は、全国平均より上回っており、重度化率については下回っていることが確認できた。